

# ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の 偏見差別の解消を目指した研究

## 目的

肝炎対策基本指針において、肝炎についての正しい知識を普及し、これにより肝炎患者等に関わる者が肝炎患者に対して適切な対応を行うことができるようにすることが必要であるとされている。

これまで政策研究で実施された肝炎患者に対する偏見や差別に関する調査において、その実態が纏められ示されているが、それらをどのように伝え、偏見や差別を解消するための方策につなげていくかについては十分な検討がなされていない。

偏見や差別の解消のために、既存の方法に加え、ソーシャルメディア等を活用した方策の有効性を検討する。特に、肝炎患者と関わることが多い医療機関等における啓発や、高校生等の若年層への啓発方法について検討を行う。

## 研究組織

### 【研究代表者】

八橋 弘  
(国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター)

### 【研究分担者】

四柳 宏  
(東京大学医科学研究所・先端医療研究センター)

米澤 敦子 (東京肝臓友の会)

中島 康之 (全国B型肝炎訴訟大阪弁護団)

梁井 朱美 (全国B型肝炎訴訟九州原告団)

及川 綾子 (薬害肝炎全国原告団)

浅井 文和 (日本医学ジャーナリスト協会、元朝日新聞編集委員)

是永 匡紹 (国立国際医療研究センター 国府台病院 肝炎情報センター)

磯田 広史 (佐賀大学医学部附属病院・肝疾患センター)



ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

# ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の 偏見差別の解消を目指した研究

## ① ホームページ

偏見差別を防止するための事例集・  
解説集を内容とするホームページ  
(HP)、ソーシャルメディア (SNS)

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

初年度

HPとSNSの作成  
研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

2年度

調査  
(トータルナレッジ)

3年度

分析、報告、  
論文化

## ② 公開シンポジウム

偏見・差別の地域差を考慮した  
上での全国公開シンポジウム

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

全国2か所

全国1か所

全国3か所

## ③ 患者アンケート調査

ウイルス性肝炎に対する治療の進歩  
を考慮した上での偏見差別や患者  
QOLに関する患者調査

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

調査

国立病院機構病院 (八橋弘)

肝炎患診療連携拠点病院  
(是永匡紹) / (磯田広史)

患者会 (米澤敦子、及川綾子、梁井朱美)

分析、報告、  
論文化

# ①ホームページ

## ウイルス肝炎、 ウイルス肝炎患者について 理解を深めましょう

### ウイルス肝炎の理解を深めましょう

一問一答で、  
ウイルス肝炎についてのあなたの理解度をチェックできる！

[理解度クイズはこちら](#)

### ひとりで悩まないで！

患者さんやご家族から寄せられた相談と専門家からの回答を紹介します。

[偏見差別相談事例はこちら](#)



研究班紹介



理解度クイズ



偏見差別相談事例



肝炎コラム



ご意見ご感想

<https://kanen-soudan.com/>

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

# 肝炎理解度クイズ

1問1答形式のクイズで、  
ウイルス肝炎を正しく理解できる！

ウイルス肝炎は理解されにくく、誤解ゆえに生まれる差別や偏見で  
今も苦しんでいる方がたくさんいらっしゃいます。

あなたも気づかずに加害者になっていることがあるかも…。  
そんなウイルス肝炎を正しく理解しているかを確認できる、  
1問1答形式のクイズをご用意しました！

回答者カテゴリを選んでください

- 一般の方    患者の方/ご家族の方    学生の方  
 医師の方    医療従事者の方    医療事務員の方    医療系学生の方

クイズをはじめる 

## 肝炎理解度クイズ

### 第3問

C型肝炎の患者さんと一緒に鍋料理を食べることになりました。食事をするだけで、あなたが感染する確率はどれくらいであるか、1つ選んでください。

- 0%
- 2% 前後
- 20% 前後
- 80% 以上
- わからない

正解は...

0%

ここがポイント!

### 研究班のひとこと解説

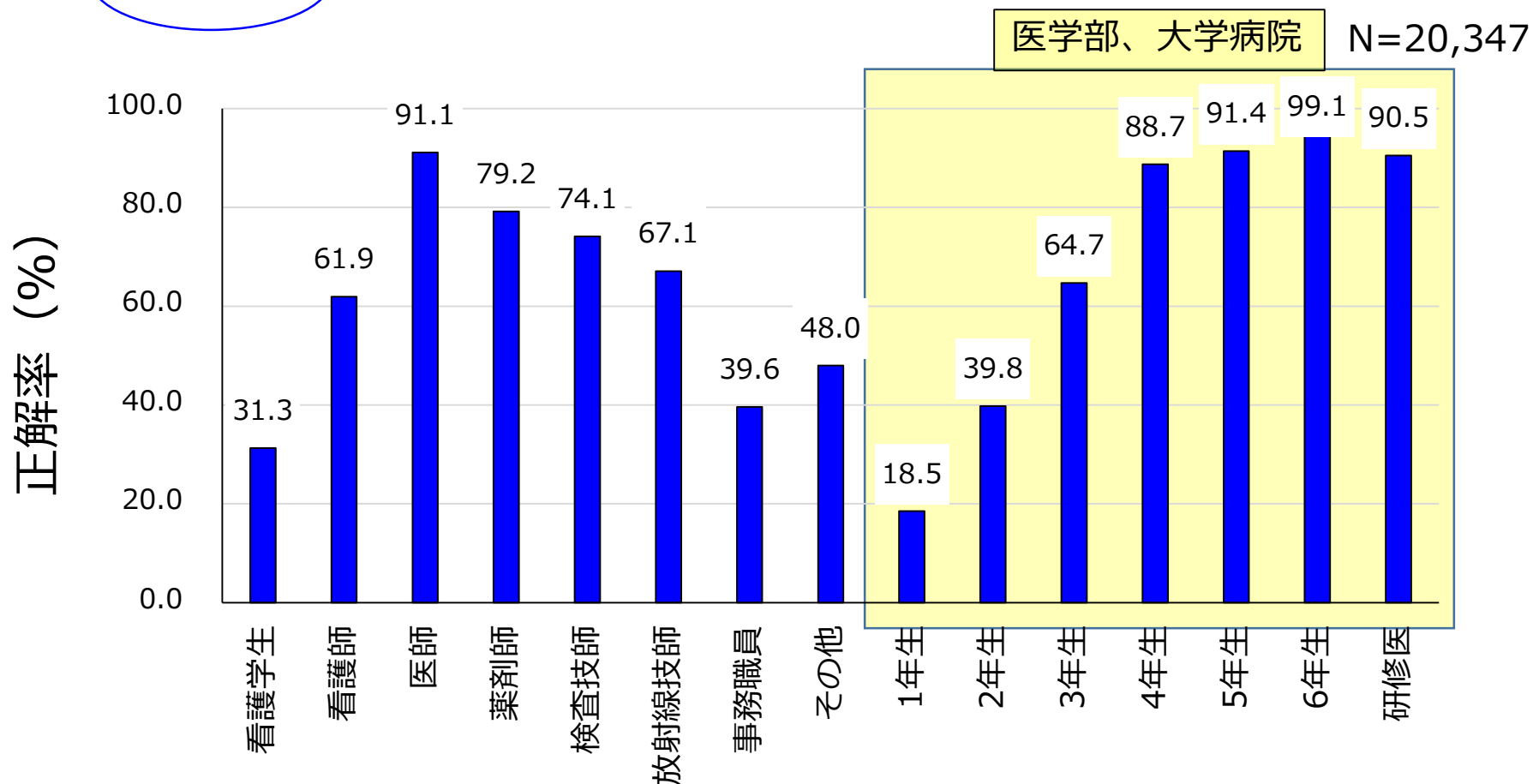
C型肝炎の感染経路は、B型肝炎と同様に血液や体液を介して感染が成立する経血液感染です。

C型肝炎の患者さんとの食事や鍋料理を食べることで、C型肝炎が感染することはありません。

正解は、感染確率0%です。

C型肝炎の患者さんと一緒に鍋料理を食べることになりました。  
食事をすることで、あなたが感染する確率はどれくらいであるか、  
1つ選んでください。

1. 0% / 2. 2%前後 / 3. 20%前後 / 4. 80%以上 / 5. わからない



『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』班

## 肝炎理解度クイズ

### 第4問

C型肝炎の患者さんを刺した蚊が、次にあなたを刺しました。あなたがC型肝炎に感染する確率はどれくらいであるか、1つ選んでください。

- 0%
- 2% 前後
- 20% 前後
- 80% 以上
- わからない

正解は...

0%

ここがポイント!

### 研究班のひとこと解説

蚊は人間を刺して吸血します。この血液にウイルスが含まれている場合には、ウイルスは蚊の中に入りますが、蚊の体内でウイルスが増殖することはありません。蚊に刺されたときには皮膚に少量の唾液（蚊の唾液）が入りますが、この唾液にはウイルスは存在しないと考えられます。したがって、蚊に刺されることでC型肝炎に感染することはありません。

正解は、感染確率0%です。

なおB型肝炎の場合も同様に、蚊に刺されることで感染することはありません。

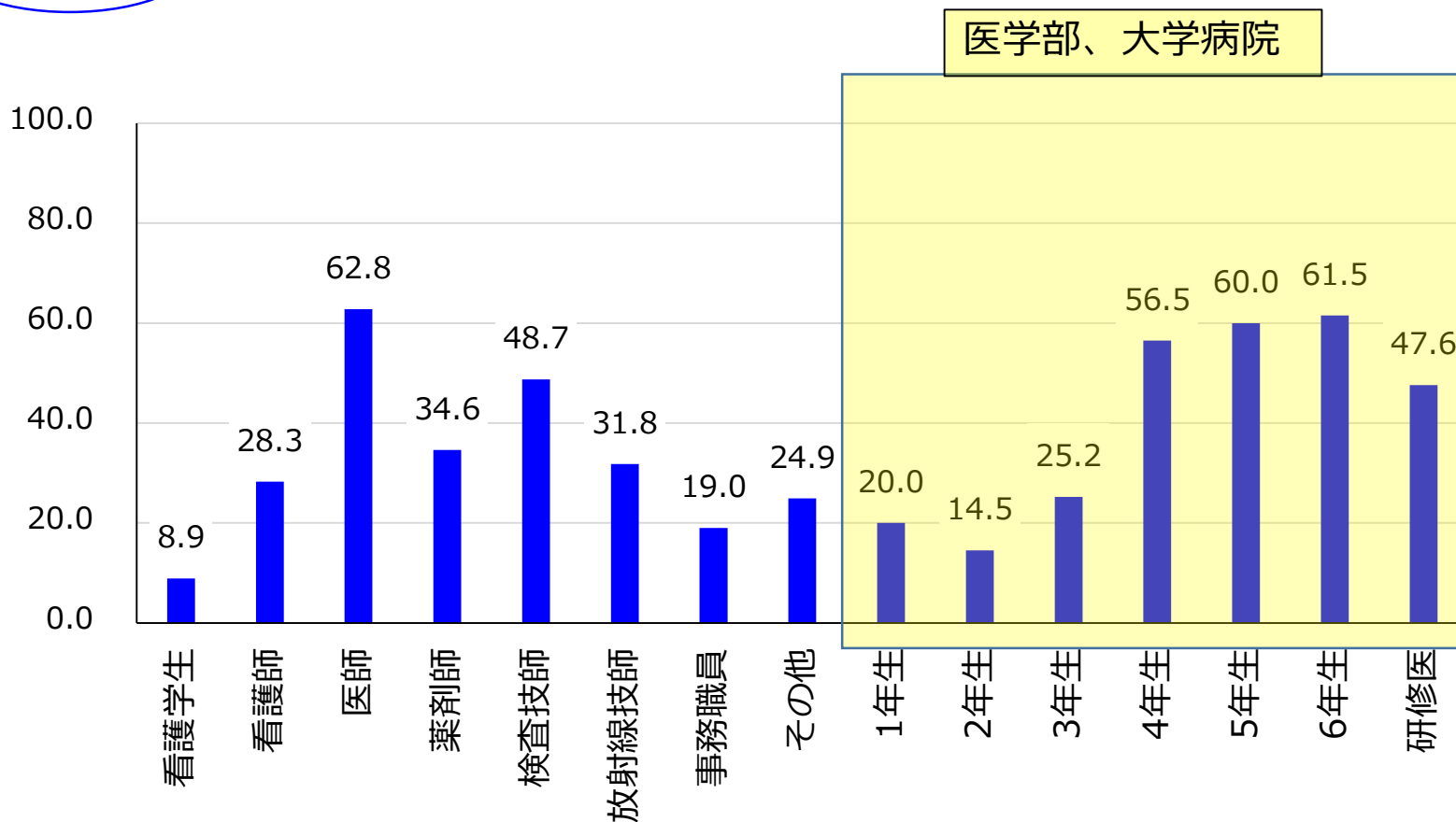
C型肝炎の患者さんを刺した蚊が、次にあなたを刺しました。  
あなたがC型肝炎に感染する確率はどれくらいであるか、

1つ選んでください。

N=20,347

1. 0% / 2. 2%前後 / 3. 20%前後 / 4. 80%以上 / 5. わからない

正解率 (%)



『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』班



# HBs抗原陽性患者家庭内捕集蚊よりのHBs抗原抗体の検出

升田隆雄、感染症学雑誌 第52巻 第12号、昭和53年12月20日

540

感染症学雑誌 第52巻 第12号

## HBs 抗原陽性患者家庭内捕集蚊よりの HBs 抗原・抗体の検出

国立名古屋病院内科

升 田 隆 雄

*Key words: HBV carrier, Transmission of HBV by Mosquito*

### 緒 言

本邦健康成人における HBs 抗原の陽性率は  
2～3%，HBs 抗体は20～30%といわれ、HBV

SAB) により、いずれも市販のキットを用いた。  
なお RIA 法においては陰性対照の平均値の2.1倍  
を cut off 値として判定を行った。しかしこれら

**蚊からのHBs抗原  
検出率**

**HBVキャリア  
10/11 = 90.9%**

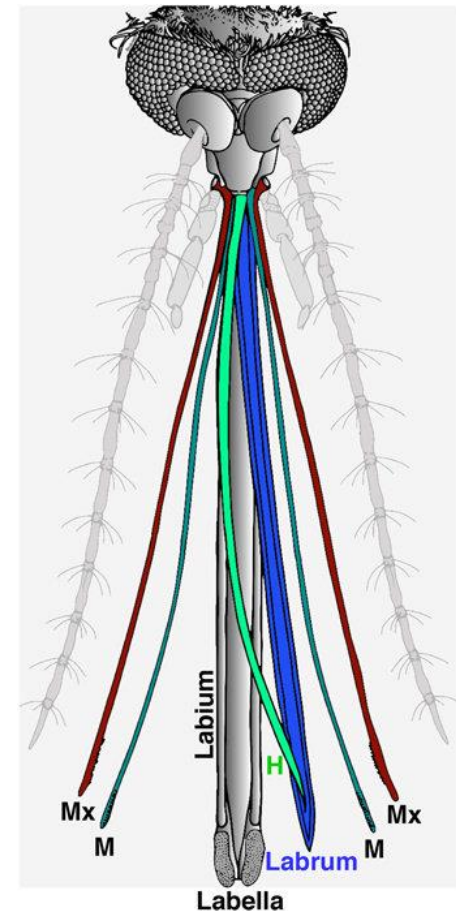
**非HBVキャリア  
0/3 = 0%**

# Why Mosquitoes Don't Spread Hepatitis

## 蚊によって肝炎が広がらない理由

チャールズ・ダニエル、ロバート・ブラコフ 2020年1月7日

- 理由① 蚊は血液ではなく唾液を注入します。  
蚊の針は6本、唾液注入の針と吸血の針は別です。
- 理由② 蚊によって蔓延するマラリアや黄熱病などの病気は、蚊の唾液を介して蔓延します
- 理由③ 蚊には肝臓がないので肝炎ウイルスは増殖できません。また蚊は連続して吸血しないこともわかりました。
- 理由④ 蚊は節足動物で、昆虫などの節足動物は肝炎ウイルスを広めないと考えられています。



Choo YM, et.al Front  
Physiol. 2015

Daniel.C, burakoff R, verywell health 2020

# ① ホームページ

## ウイルス肝炎、 ウイルス肝炎患者について 理解を深めましょう

### ウイルス肝炎の理解を深めましょう

一問一答で、  
ウイルス肝炎についてのあなたの理解度をチェックできる！

[理解度クイズはこちら](#)

### ひとりで悩まないで！

患者さんやご家族から寄せられた相談と専門家からの回答を紹介します。

[偏見差別相談事例はこちら](#)



研究班紹介



理解度クイズ



偏見差別相談事例



肝炎コラム



ご意見ご感想

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

# ① ホームページ

## 偏見差別相談事例

患者さんやご家族から寄せられた  
実際の相談事例を紹介しています。



ウイルス排除後も歯科で治療を断られる。定期健診とか歯石除去も嫌がられる。

医療機関 (歯科) ご相談者: C型肝炎の患者さん

座談会での回答をみる



看護学校で看護師を目指している。  
実習の病院が受け入れを拒否する可能性もあると学校に言われた。  
B型肝炎だと看護師になれないのか。

就職 ご相談者: B型肝炎の女性

座談会での回答をみる



会社でこれまで肝炎ウイルス検査をしなかったのに、今年から始めると聞き悩んでいる。  
受けなくても大丈夫か？何か言われそうで不安。

職場 ご相談者: B型肝炎の患者さん

座談会での回答をみる



以前から施設に入居している子供がC型肝炎で、現在ウイルス排除に成功して2年経過した。治療前から入浴も食器も別にされていたが、今もその対応が続いている。  
施設側は、「再発の可能性があるから」と言うが、その後も陰性が続いており、肝機能も正常値。この対応がいつまで続くのか疑問。

介護施設 (1) ご相談者: C型肝炎の患者さんの家族

座談会での回答をみる



「どんな小さな傷があるかわからないので、お風呂は一番最後に入れてもらう」と言われ傷つき、その後デイサービスを受けるのをやめた。

介護施設 (2) ご相談者: C型肝炎の患者さん

座談会での回答をみる



出産後、子供に母子感染防止のためのワクチンを打ったが、陽性になってしまった。  
B型肝炎のことも伝えた上で保育園入園が内定したが、その後自宅待機を命ぜられた。

保育園 ご相談者: B型肝炎の子どもの母親

座談会での回答をみる



これから介護の仕事をしようと思っているが、施設にB型肝炎のことは伝えるべきか。

就職 ご相談者: B型肝炎の患者さん

回答をみる



過去に就職時の健康診断時にB型肝炎の抗原陽性と伝えると抗原陽性の人は採用できないと言われ不採用になった。今回、別の就職先が決まったが、健康診断を受けるように言われている。また不採用になるのか不安である。

就職 ご相談者: B型肝炎の患者さん

回答をみる



B型肝炎のワクチンを打てば、感染する心配はないのか。

感染予防 ご相談者: B型肝炎の患者さん

回答をみる



家族が、献血でB型肝炎の抗原陽性とわかり、今後のことが心配。

ウイルス検査 ご相談者: B型肝炎の患者さん

回答をみる



つきあっている人と結婚を考えているが、B型肝炎ということは伝えていない。伝えなければと思っているが、言い出せない。どうしたらよいのか。

結婚 ご相談者: B型肝炎の患者さん

回答をみる

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

## ① ホームページ

## 偏見差別相談事例

患者さんやご家族から寄せられた  
実際の相談事例を紹介しています。



ウイルス排除後も歯科で治療を断られる。定期健診とか歯石除去も嫌がられる。

医療機関（歯科）

ご相談者: C型肝炎の患者さん

座談会での回答をみる

### A1 回答1

C型肝炎の方は、抗ウイルス治療を受けてウイルス学的に完治（体内からウイルスが完全に排除された状態）された方と、治療を受けておられない方に大別されます。ウイルス学的に完治された方では感染性はないことからC型肝炎であったことを歯科医院に伝える必要はありません。一方、まだ抗ウイルス治療を受けておられない方は、標準予防策（すべての人は伝搬する病原体を保有していると考えて感染防除をおこなうこと）を実施している歯科医院で治療を受けられることをお勧めします。標準予防策を実施している歯科医院では、C型肝炎であってもそうでなくとも、患者さんへの対応や処置に差がないからです。なお医療機関や歯科医療機関の受診の際、ご自身の過去の病気や現在服用している薬剤について、医師や歯科医師に伝えることは、診断と治療をおこなう上で大切なことです。

### A2 回答2（患者よりコメント）

「嫌な思いをするなら歯科で肝炎であることを伝える必要はないと思います。ただ、私たち肝炎患者は他の方に感染させたくありませんし、自分も他の感染症にはかかりたくありません。そのため、標準予防策をきちんと実施している歯科にかかるべきだと考えます。しかし現時点では、標準予防策を徹底していない歯科医院も少なからずみられます。その場合、肝炎であることを伝えると順番を最後にされたり、診療を断られることもあります。歯科にかかる際は、事前に電話で肝炎でも診てもらえるかどうか確認することをお勧めします。」

# ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の 偏見差別の解消を目指した研究

## ① ホームページ

偏見差別を防止するための事例集・  
解説集を内容とするホームページ  
(HP)、ソーシャルメディア (SNS)

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

初年度

HPとSNSの作成  
研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

2年度

調査  
(トータルナレッジ)

3年度

分析、報告、  
論文化

## ② 公開シンポジウム

偏見・差別の地域差を考慮した  
上での全国公開シンポジウム

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

全国2か所

全国1か所

全国3か所

## ③ 患者アンケート調査

ウイルス性肝炎に対する治療の進歩  
を考慮した上での偏見差別や患者  
QOLに関する患者調査

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

調査

国立病院機構病院 (八橋弘)

肝炎患診療連携拠点病院  
(是永匡紹) / (磯田広史)

患者会 (米澤敦子、及川綾子、梁井朱美)

分析、報告、  
論文化



### ③患者アンケート調査

ウイルス性肝炎に対する治療の進歩を考慮した上での偏見差別や患者QOLに関する患者調査  
(患者アンケート調査)

2014年9月



平成24年(2012年)  
～肝臓病患者さんの病態と生活に関するアンケート調査～  
より良い毎日のために

【病態別の患者の実態把握のための調査】  
および  
『肝炎患者の病態に即した相談に対応できる  
相談員育成のための研修プログラム策定』  
に関する研究のための  
肝臓病患者の病態と生活の調査

**平成24年  
2012年調査**

厚生労働省 難病がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業（肝炎関係研究分野）  
【病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる  
相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究】班 主任研究者 八橋 弘  
お問合せ先 担当者：八橋 弘 電話(代表)：0957-52-5121  
(国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 治療研究部)

-1-

2012年調査  
差別偏見の頻度 **16.3%**

HCV男性：10.1%  
HCV女性：17.2%

HBV男性：16.2%  
HBV女性：28.2%

肝臓病患者さんの病態と  
生活に関する  
アンケート調査

— より良い毎日のために —

**令和3年  
2021年調査**

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
【ソーシャルメディア等を活用した  
肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究】  
研究代表者 八橋 弘

お問合せ先 担当者：八橋 弘 電話(代表)：0957-52-3121  
(国立病院機構長崎医療センター 副院長)

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

### ③患者アンケート調査

## 肝疾患患者さんに対するアンケート調査中間報告

アンケート回収期間：

2021年6月7日～11月1日

調査施設：

国立病院機構33施設

肝疾患診療連携拠点病院8施設

計41施設

調査対象者数：

上記医療施設に通院している

肝疾患患者1304名

アンケート回収率：

23.9% (1304/5440)

アンケートの設問数：

79設問

原因別

C型肝炎	443(34%)
B型肝炎	466(36%)
B/C以外	384(30%)
B型及びC型肝炎	11( 1%)
合計	1304

病態別 (重複回答)

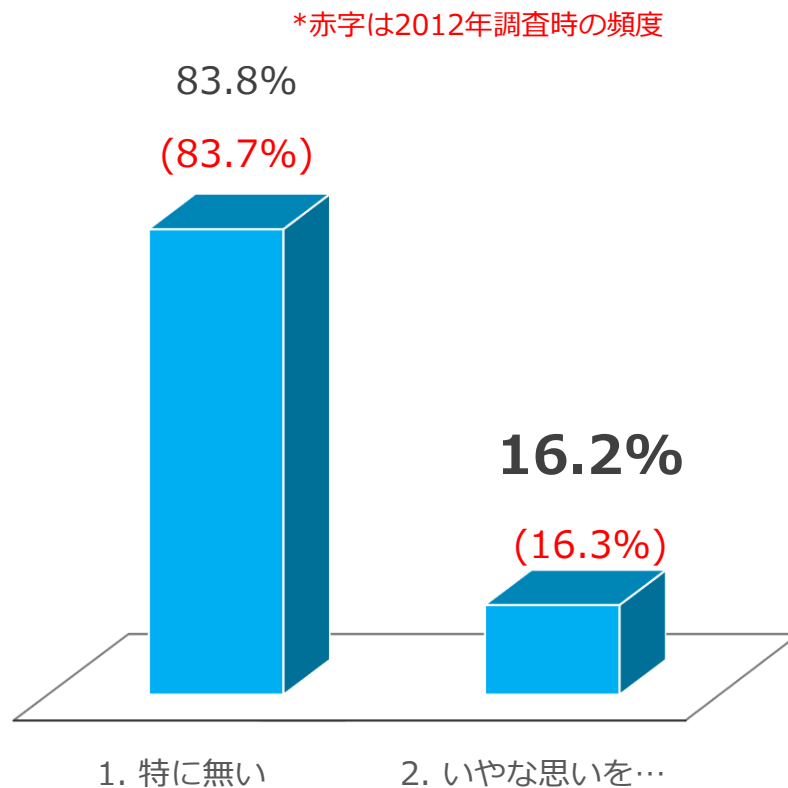
1. 慢性肝炎	636(48%)
2. 肝硬変	232(18%)
3. 肝がん	197(15%)
4. キャリアー	146(11%)
5. 脂肪肝、 非アルコール性 脂肪肝炎(NASH)	114( 9%)
その他	176
無回答	51
合計	1552



### ③患者アンケート調査

C-2 肝炎に感染していることで、差別を受けるなど、いやな思いをしたことがありますか。  
(B型肝炎443人、C型肝炎466人、B型・C型肝炎11人、計920人)

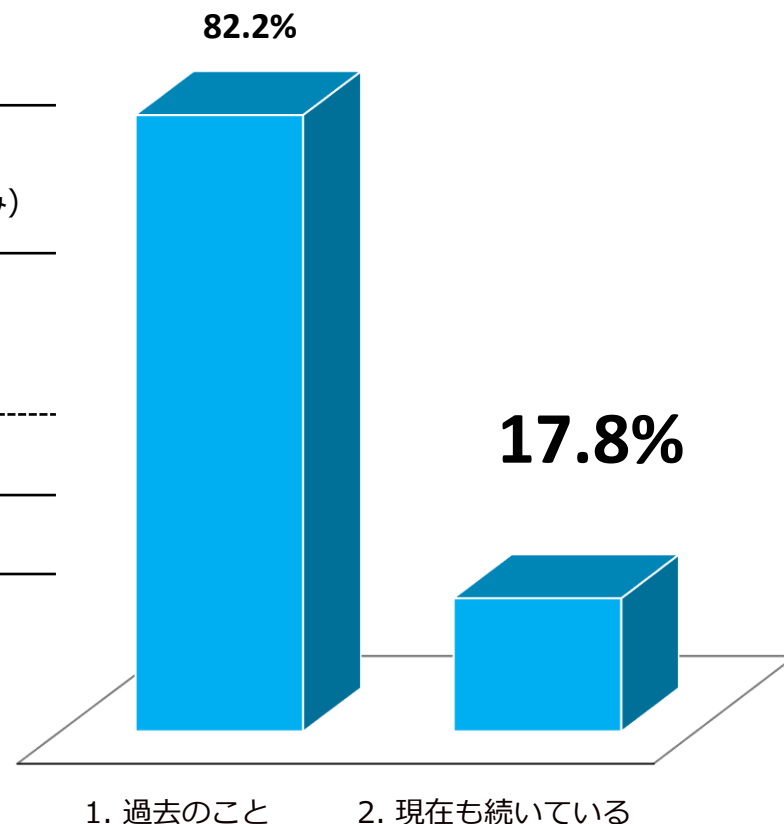
選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答のみ)
1. 特に無い	715	77.7	83.8
2. いやな思いをしたことがある	138	15.0	16.2
無回答	67	7.3	
合計	920	100.0	100.0



### ③患者アンケート調査

C-2-1 (前問で、「2 いやな思いをしたことがある」と答えた方にお尋ねします。)  
そのことは過去のことですか、現在も続いている話ですか。  
(B型肝炎89人、C型肝炎47人、B型・C型肝炎2人、計138人)

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答のみ)
1. 過去のこと	111	80.4	82.2
2. 現在も続いている	24	17.4	17.8
無回答	3	2.2	
合計	138	100.0	100.0

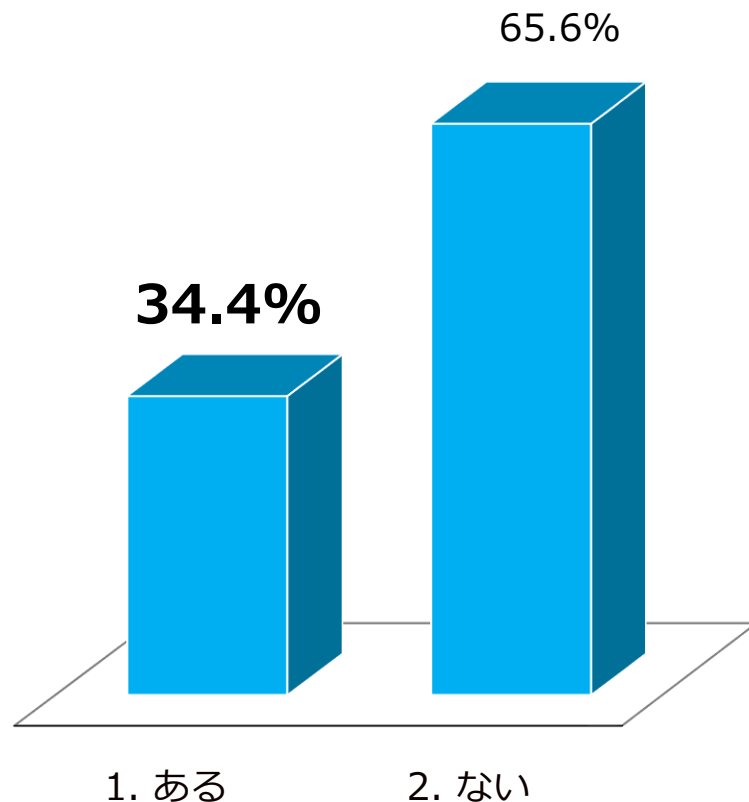


### ③患者アンケート調査

C-2-2 肝炎に感染していることで、いやな思いをしないように気をつけていることがありますか。具体的なことがあれば、かつこの中にお書きください。

(B型肝炎443人、C型肝炎466人、B型・C型肝炎11人、計920人)

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答のみ)
1. ある	247	26.8	34.4
2. ない	472	51.3	65.6
無回答	201	21.8	
合計	920	100.0	100.0

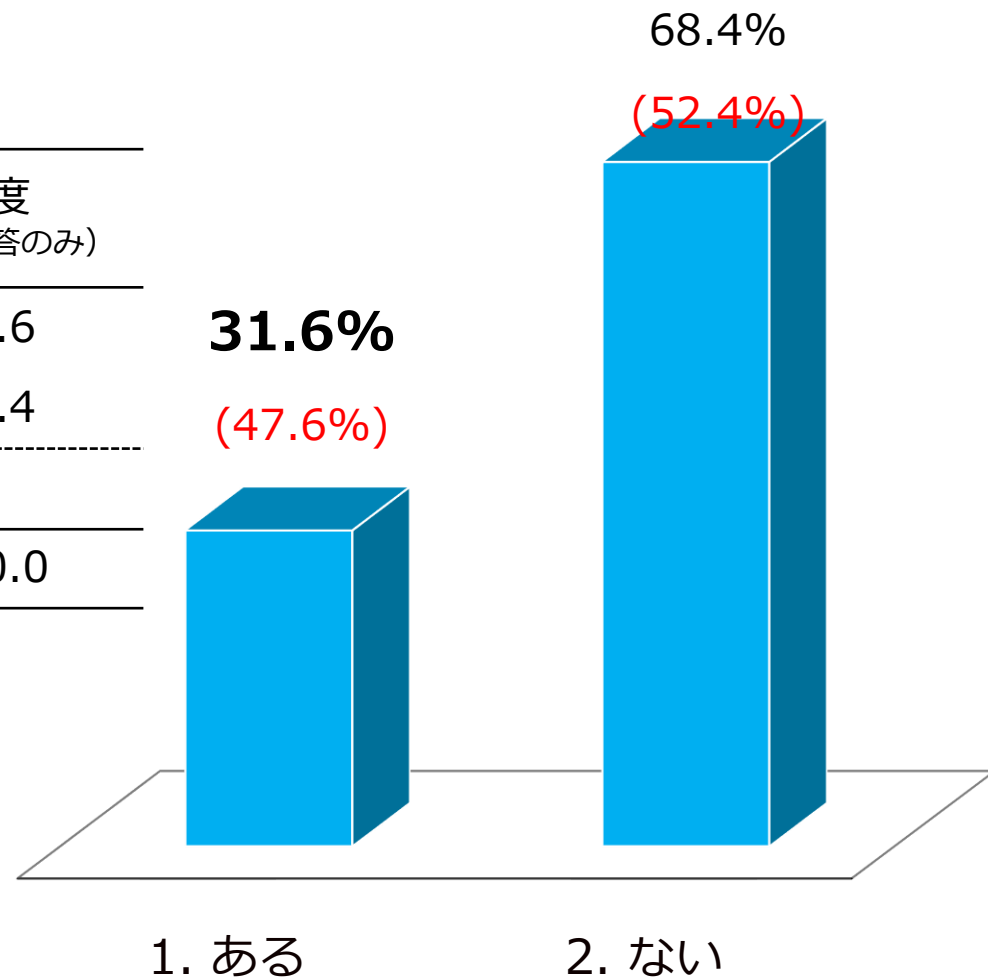


### ③患者アンケート調査

F-11 日常生活で、肝臓病を患っていることによる悩みやストレスはありますか。

\*赤字は2012年調査時の頻度

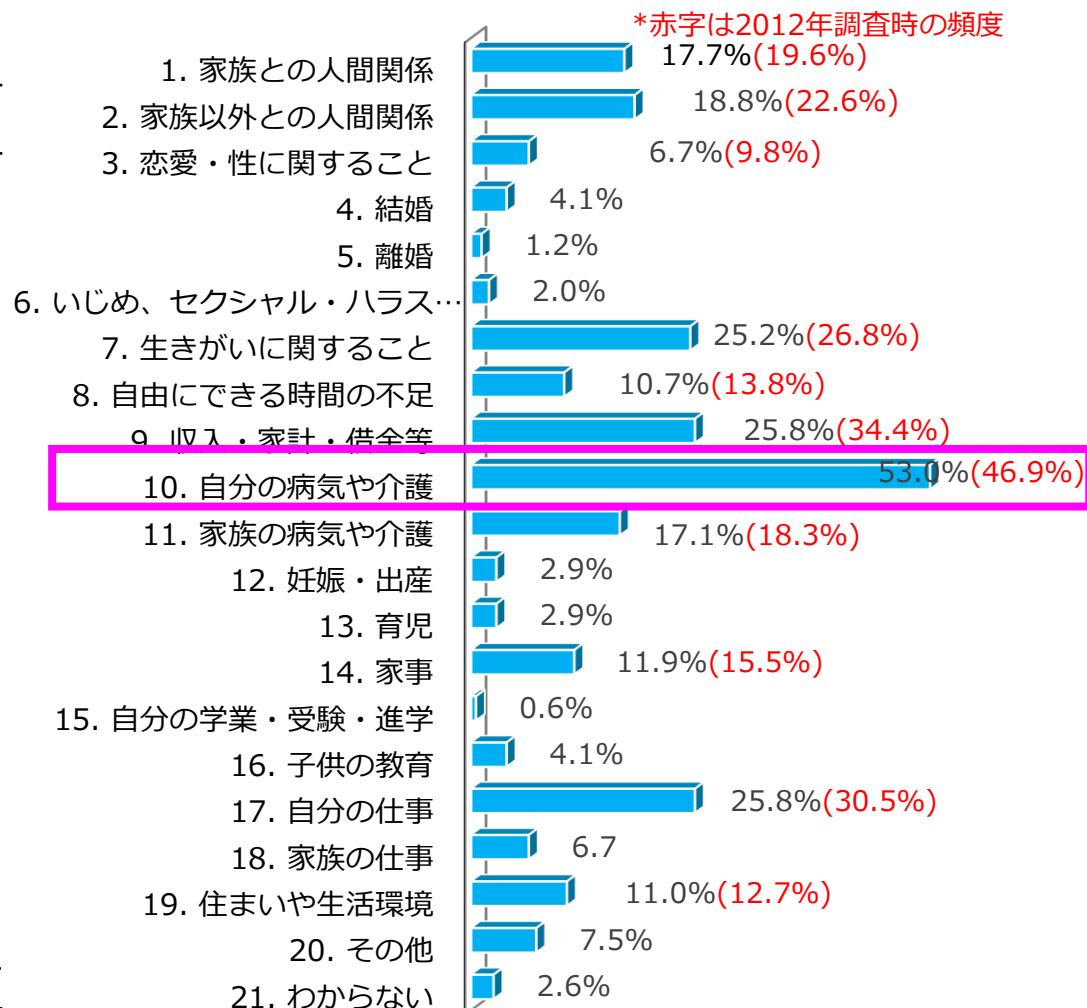
選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答のみ)
1. ある	369	28.3	31.6
2. ない	798	61.2	68.4
無回答	137	10.5	
合計	1304	100.0	100.0



### ③患者アンケート調査

F-12 悩みやストレスの原因について、下表であてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=369)

選択項目	回答数	頻度 (有効回答のみ)
1. 家族との人間関係	61	17.7
2. 家族以外との人間関係	65	18.8
3. 恋愛・性に関すること	23	6.7
4. 結婚	14	4.1
5. 離婚	4	1.2
6. いじめ、セクシャル・ハラスメント	7	2.0
7. 生きがいに関すること	87	25.2
8. 自由にできる時間の不足	37	10.7
9. 収入・家計・借金等	89	25.8
10. 自分の病気や介護	183	53.0
11. 家族の病気や介護	59	17.1
12. 妊娠・出産	10	2.9
13. 育児	10	2.9
14. 家事	41	11.9
15. 自分の学業・受験・進学	2	0.6
16. 子供の教育	14	4.1
17. 自分の仕事	89	25.8
18. 家族の仕事	23	6.7
19. 住まいや生活環境	38	11.0
20. その他	26	7.5
21. わからない	9	2.6
無回答	24	
合計	915	
有効回答人数	345	



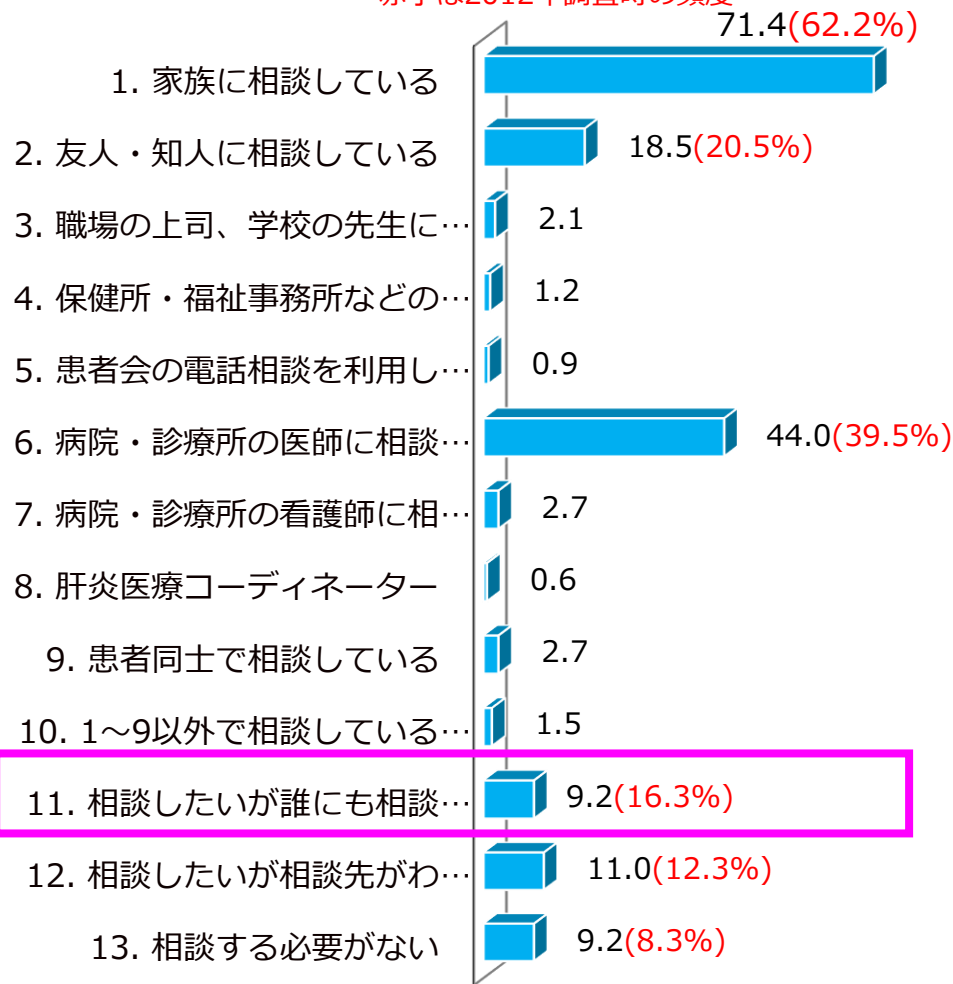
前回と比較して10.自分の病気や介護が増加しその他が減少している。

### ③患者アンケート調査

F-13 悩みやストレスの相談状況について、下表であてはまる番号すべてに○をつけてください。(N=369)

選択項目	回答数	頻度 (有効回答のみ)
1. 家族に相談している	240	71.4
2. 友人・知人に相談している	62	18.5
3. 職場の上司、学校の先生に相談している	7	2.1
4. 保健所・福祉事務所などの公的機関の相談窓口を利用している(電話・インターネット等での相談含む)	4	1.2
5. 患者会の電話相談を利用している	3	0.9
6. 病院・診療所の医師に相談している	148	44.0
7. 病院・診療所の看護師に相談している	9	2.7
8. 肝炎医療コーディネーター	2	0.6
9. 患者同士で相談している	9	2.7
10. 1~9以外で相談している(職場の相談窓口等)	5	1.5
11. 相談したいが誰にも相談できないでいる	31	9.2
12. 相談したいが相談先がわからない	37	11.0
13. 相談する必要がない	31	9.2
無回答	33	
合計	621	
有効回答人数	336	

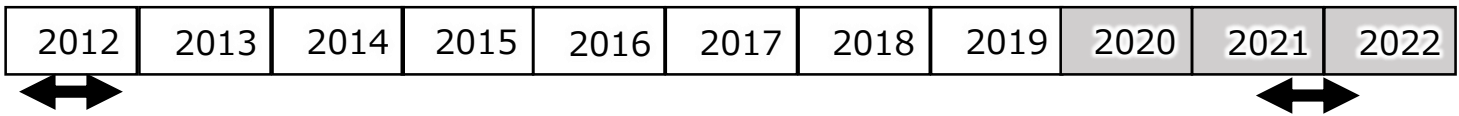
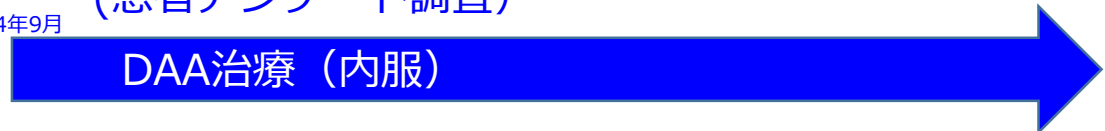
\*赤字は2012年調査時の頻度



### ③患者アンケート調査

ウイルス性肝炎に対する治療の進歩を考慮した上での偏見差別や患者QOLに関する患者調査  
(患者アンケート調査)

2014年9月



平成24年(2012年)  
～肝臓病患者さんの病態と生活に関するアンケート調査～  
より良い毎日のために

『病態別の患者の実態把握のための調査』  
および  
『肝炎患者の病態に即した相談に対応できる  
相談員育成のための研修プログラム策定』  
に関する研究のための  
肝臓病患者の病態と生活の調査

**平成24年  
2012年調査**

厚生労働省 難病がん等の疾患分野の医療の活用化研究事業(肝炎関係研究分野)  
【病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる  
相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究】 班 主任研究者 八橋 弘  
お問い合わせ先 担当者: 八橋 弘 電話(代表): 0957-52-5121  
(国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 治療研究部)  
-1-

2012年調査  
差別偏見の頻度 **16.3%**

HCV男性: 10.1%  
HCV女性: 17.2%

HBV男性: 16.2%  
HBV女性: 28.2%

2021年調査  
差別偏見の頻度 **16.2%**

HCV男性: 8.7%  
HCV女性: 13.4%

HBV男性: 18.8%  
HBV女性: 24.9%

肝臓病患者さんの病態と  
生活に関する  
アンケート調査

— より良い毎日のために —

**令和3年  
2021年調査**

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(肝炎等克服政策研究事業)  
【ソーシャルメディア等を活用した  
肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究】  
研究代表者 八橋 弘

お問い合わせ先 担当者: 八橋 弘 電話(代表): 0957-52-3121  
(国立病院機構長崎医療センター 副院長)

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

# ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の 偏見差別の解消を目指した研究

## ① ホームページ

偏見差別を防止するための事例集・  
解説集を内容とするホームページ  
(HP)、ソーシャルメディア (SNS)

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

初年度

HPとSNSの作成  
研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

2年度

調査  
(トータルナレッジ)

3年度

分析、報告、  
論文化

## ② 公開シンポジウム

偏見・差別の地域差を考慮した  
上での全国公開シンポジウム

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

全国2か所

全国1か所

全国3か所

## ③ 患者アンケート調査

ウイルス性肝炎に対する治療の進歩  
を考慮した上での偏見差別や患者  
QOLに関する患者調査

(八橋弘) (四柳 宏) (米澤敦子) (中島康之) (及川綾子)  
(梁井朱美) (浅井文和) (磯田広史) (是永匡紹)  
(トータルナレッジ)

研究計画書の作成  
倫理委員会への  
申請と承認

調査

国立病院機構病院 (八橋弘)

肝炎患診療連携拠点病院  
(是永匡紹) / (磯田広史)

患者会 (米澤敦子、及川綾子、梁井朱美)

分析、報告、  
論文化



## ②公開シンポジウム

厚生労働行政推進調査事業補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
「ソーシャルメディア等を活用した  
肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究」

先着**70名**  
限定  
お申込み方法は  
裏面をご確認ください。

# 肝炎患者のおかれた 状況について考える 公開シンポジウム

東京

2022 **3月6日**  
13:00 ~ 15:30  
(開場 12:30)

ステーションコンファレンス東京  
会議室 503 A+B+C+D

ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班では、肝炎対策基本指針において、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指しており、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回、一般市民、肝炎患者、医療従事者の方を対象として、肝炎患者の偏見や差別についてともに考える公開シンポジウムを左記のように開催いたします。

関心のある方に参加いただきたく思います。

研究班代表 八橋 弘  
(国立病院機構長崎医療センター 副院長)

**Program**

【開会挨拶】八橋 弘  
【司会】四柳 宏  
東京大学医科学研究所教授

＜研究班報告＞  
八橋 弘

＜偏見や差別に関する相談事例の紹介＞  
米澤 敦子  
東京肝臓友の会事務局長

【休 憩】13:35 ~ 13:50

【パネルディスカッション】  
【司会】米澤 敦子・浅井 文和  
特定非営利活動法人  
日本疫学ソーシャルリスト協会 会長

＜パネリスト＞  
八橋 弘  
四柳 宏  
梁井 朱美  
全国型肝炎相談九州原島団  
及川 綾子  
東京肝炎全国原島団  
中島 康之  
全国型肝炎相談大阪府原島団 専任

＜コメンテーター＞  
磯田 広史  
北里大学医学部附属病院  
肝炎センター 副センター長  
是永 匡紹  
肝炎情報センター  
肝炎患研 専任

※入場の際には「健康チェック」及び「新型コロナウイルス抗原検査」を実施する予定です。

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター  
肝炎患相談支援センター

受付時間：平日（9：00～14：30）  
TEL：0957-52-3121（代）




ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究班

# 肝炎ウイルス感染者への偏見や差別を 減らす為に必要なこと

1. 偏見や差別の実態を明らかにする
2. 肝炎ウイルスの感染経路、感染性について正しく理解する
3. 偏見や差別を減らす為に必要な仕組みを共に考え、実現化する